

【回答用紙】2012年守谷市議会議員立候補予定者へのエネルギー政策に関するアンケート

フリガナ キムラ フミアキ		
名前 木村 文明	年齢 44	現職・ <input checked="" type="checkbox"/> 新人 (どちらかに○)
所属会派 (現職のみ)	所属政党	無所属
ホームページ (お持ちであれば) :		

1 エネルギーに関する基本的な考え方 (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 今後も既存の化石燃料・原子力を基軸とし、省エネと技術革新に期待する
- 基軸は既存のエネルギー源とすべきだが、原子力だけは減らしていくべき
- 自然エネルギーへの転換を早急かつ段階的に図るべきである
- 自然エネルギー推進には反対しないが課題が多く将来的な技術であり過剰な期待は禁物である
- 重要な課題だがまずは国が主導すべき課題につき自らの考えを明示する必要はない
- 該当なし

2 エネルギーに関する基本的な考え方 (自由記述。300字程度)

脱化石燃料および自然界に存在しないプルトニウムを作り出しエネルギーに変えていく原子力政策はやめるべき。「20世紀は破壊の時代」「21世紀は守る時代」と考える。その根本はエネルギー問題である。解決を図るには自然エネルギー推進が急務である。

3 日本の核燃料サイクルについて (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 核燃料サイクル計画は既に破綻しており、撤退すべき
- 万難を排し、技術開発により核燃料サイクルを実施していくべき
- 将来的な原子力技術の展望に期待し、現状の核燃料サイクル自体に打開策がなくても継続すべき
- 該当なし

4 ピークオイル問題について (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- よく知っているし、対策も考えてきた
- 聞いたことはあるが具体的な対処はしていない
- 初めて目にした
- 内容は理解しているが対処する必要なし
- 該当なし

5 東海第2原子力発電所の再稼働について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

- 絶対反対であり市議会で稼働反対の意見書を採択すべき
- 安全対策を徹底した上で判断すべき
- 安全対策を前提に、急ぐ必要はないが再稼働すべき
- 該当なし

6 今後、守谷市にて推進すべきエネルギー関連施策としてどのようなものをお考えでしょうか。（自由記述。300字程度）

施策：太陽光を利用したエネルギー開発の推進。クレノートン跡地には5000～8000㎡の規模の住宅建設が計画されている。その建設時に自然エネルギーを利用できる使用や施設を作り、自然エネルギーモデル地区として開発。それにより市全域に自然エネルギー利用を進めていく。

7 エネルギー政策で参考にすべき国内外の自治体があれば挙げてください。（3箇所まで）

① 治体名：ドイツ、ミュンヘン

理由：

ソーラーパークプロジェクト

200以上の市民共同発電事業を実施し、1.6億kWhの電力を発電している。

② 治体名：ドイツ、ミュンスター

理由：

ミュンスター都市公社を立ち上げ、再生可能エネルギーについて顧客参加型太陽光発電システムの取り組み

③ 治体名：飯田市

理由：地域エネルギー事業。太陽光、バイオマス、小水力発電。

身の丈プロジェクトと称す。

8 原発の海外への輸出について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

- 賛成
- 反対
- どちらとも言えない

以上、ご協力ありがとうございました。